

情報公開文書

研究の名称	当院における血管新生緑内障に対する抗 VEGF 薬治療の眼圧下降効果
整理番号	R2021058
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院眼科 林 篤志 教授
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山大学附属病院で 2010 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに血管新生緑内障と診断され、抗 VEGF 薬の加療を受けた患者</p> <p>【研究の目的・意義】 血管新生緑内障は隅角に新生血管が生ずることで眼圧上昇を来し、重篤な視力低下をきたす疾患です。治療として隅角の新生血管を消退させ、眼圧下降を期待して抗 VEGF 薬の硝子体注射が行われていますが、硝子体注射後に眼圧上昇をきたす場合もあります。抗 VEGF 薬治療は承認されたばかりでまだ十分な治療効果の報告はなされていません。抗 VEGF 薬の注射後の治療成績、転帰について調査し、その効果について検討したいと考えています。今回我々は当院で抗 VEGF 薬注射を行った患者の診療録を後ろ向きに調査し、その後の眼圧、転帰を検討します。血管新生緑内障に対する抗 VEGF 薬の治療結果を検討することで抗 VEGF 薬を注射することでこういった効果が得られるか、今後治療を行う患者さんに対して当院での術後成績を説明する手助けになります。</p> <p>【研究の方法】 富山大学附属病院で 2010 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに血管新生緑内障と診断され、抗 VEGF 薬の加療を受けた患者の診療録から術前術後の眼圧、視力、合併症の有無、前眼部の状態、転帰を確認します。</p> <p>【研究期間】 2021 年 6 月 29 日から 2025 年 3 月 31 日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表、論文掲載を予定しています。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>主要評価項目：術後眼圧 副次的評価項目：視力、視野、前眼部・後眼部の状態、転帰、合併症の有無 他機関への情報の提供：無</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 眼科 教授 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 眼科 教授 林 篤志
研究対象者、親族等関	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関す

係者からの相談等への 対応窓口	る相談等について下記の窓口で対応いたします。 担当者所属・氏名 眼科 大塚光哉 研究対象者等からの相談窓口 電話対応 076-434-7363
--------------------	---